

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2018年8月10日～2022年11月30日

活動名	品川区立京陽小学校『受け継ごう京陽の森(仮称)』学校環境保全林再生と環境教育	
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva (シルワ)	
活動目的	在校生の環境教育に『土地本来の森』が採択され、2018年8月より連携。座学・植樹・育樹に留まらず、調査体験まで盛り込み、次世代の人材を育成する。スタート時に本プロジェクトを10年間継続する約束を取り交わし、推進中。	
活動内容	2018年8月に同校・地域・PTAの協働参加による作業体制のもと、校庭内の学校環境保全林を採択。2019年11月に対象地で植樹祭を開催。2021年12月より、当法人にて、助成金を獲得し、当該校の費用に充当。2022年より、同校が6年生全クラス約90名へ総合学習10時間を確保。カリキュラムに植物生態学と土壌動物学の座学・大地再生・植樹・育樹・毎木調査・地域の植生巡りまで盛り込み、2023年3月まで推進中。上記の過程では、児童へオンライン朝礼なども実施する中、身近な有機物資源(落ち葉等)を集め、森づくりでの再資源化などのSDGs目標貢献についても派生し学ぶ。	
活動写真		
写真説明	2022年9月20日座学	2022年11月22日植樹祭
活動効果	本プロジェクトは、当法人がコンサルし環境大臣省を受賞された(株)家具の大正堂『る〜たん♪の森』植樹祭へ来場されたPTAの紹介でスタート。地域と保護者の協力体制が発足時より整っており、プロジェクト推進が容易となり、校長や教師が代替わりしても継続できるプロジェクトとなる。6年児童からは、はじめて知る生態系の奥深さに多大な反響を得ており、2022年のカリキュラムが大幅に拡大された。	
今後の展望	2023年3月に毎木調査を実施するため、植樹後の経年変化を毎年6年生へ進級する児童が担うこととなります。植樹された苗木の生長を追跡することで、植物が太陽エネルギーと二酸化炭素を吸収する過程を記録すると共に、卒業生の想いを受け継ぎます。同校では、2023年度の新たな植樹地も模索されており、当法人も助成金の獲得を計画します。	